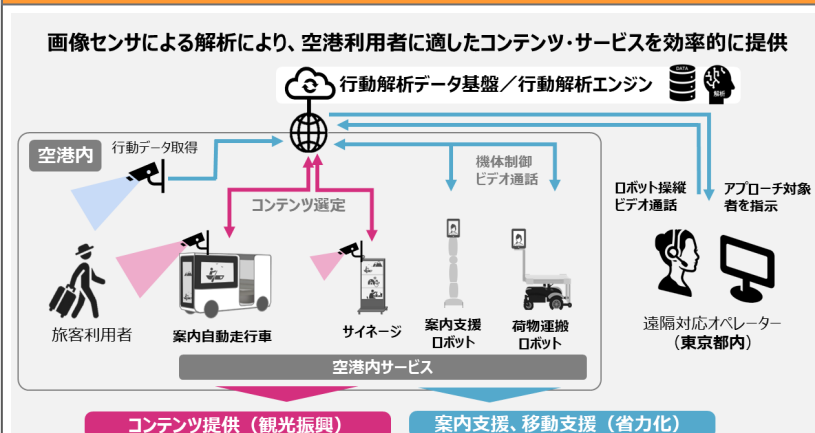


空港を起点とした周辺地域の観光振興を空港業務の省力化と併せて実現する実証

実施体制 (下線：代表機関)	ソニーワイヤレスコミュニケーションズ(株)、(株)えんれいしや、千歳市、北海道エアポート(株)、Iroribi(株)、avatarin(株)、ソニーグループ(株)、(株)ソニー・ミュージックソリューションズ	実施地域	北海道千歳市
目標	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 空港を起点とした周辺地域の観光振興 ➤ 空港業務の省力化・効率化 	通信技術	ローカル5G
実証課題	北海道千歳市では、インバウンド需要中心に旅行者が増加している一方で、インバウンド対応スタッフが不足しており、観光地への誘導や周遊提案が十分にできていない状況がある。また、空港内においては空港利用者の増加に対応できる十分なリソースが確保できていない状況もあり、現状以上の観光振興施策等の実施が困難であるという課題が存在		

実証の概要



- 観光振興及び空港業務の省力化等実現のため、画像センサを用いて空港利用者の行動データを取得し、行動解析データ基盤/行動解析エンジン構築
- 行動解析データ基盤/行動解析エンジンと連携した各サービスの稼働により、効果的な観光案内業務(利用者行動解析による、最適なコンテンツ提供・デジタル観光案内)や効率的なサポート業務(遠隔での案内支援・無人での荷物運搬)の実現を検証

実証の結果・考察

「※」は、実証の結果欄に経緯の記載がないため、成果報告書「実装・横展開に向けた準備状況」を参照のこと

実証結果	【1】行動解析	<ul style="list-style-type: none"> 目標：AI正解率90%以上 結果：AI判定35.8% (人の判断を組み合わせ実証実施)
	【2】案内支援ロボット	<ul style="list-style-type: none"> 目標：観光案内数30件/1日 満足度80% 結果：◎76.4件/1日 98.8%(n=248)
	【3】デジタル観光案内	<ul style="list-style-type: none"> 目標：クーポン発行数+10件 満足度80% 結果：◎+14件 80.8%(n=52)
	【4】案内自動走行車	<ul style="list-style-type: none"> 目標：乗車数4組/h 満足度80% 結果：◎6組/h 92.0%(n=113)
実装の課題と解決時期	<ul style="list-style-type: none"> 【1】【3】部分導入による費用削減 (解決の目標2025年12月) 【2】【4】費用対効果の精査 (解決の目標2025年8月) 	
横展開の課題と解決時期	<ul style="list-style-type: none"> 【2】オペレーター1人あたりの同時対応件数の増加 ※効率性向上の為の将来的な取り組み 【3】【4】コンテンツ費用の削減 (解決の目標2025年度) 	

実装・横展開に向けたスケジュール

実装 (2025年7月~2026年3月)

- 行動解析：2025年12月 (混雑検知・異常検知導入)
- 案内支援ロボット：2025年度 (複数空港利用)
- 案内自動走行車：2025年8月 (イベント利用)
- デジタル観光案内：2025年12月 (既設設備連携)

横展開 (2025年10月~)

- 案内支援ロボット：2025年度 (複数空港利用)
- 案内自動走行車：2025年10月 (道内 他施設イベント利用)
- デジタル観光案内：2026年1月 (他施設導入)